

さあ、これからだ。



熊本県立 技術短期 大学校

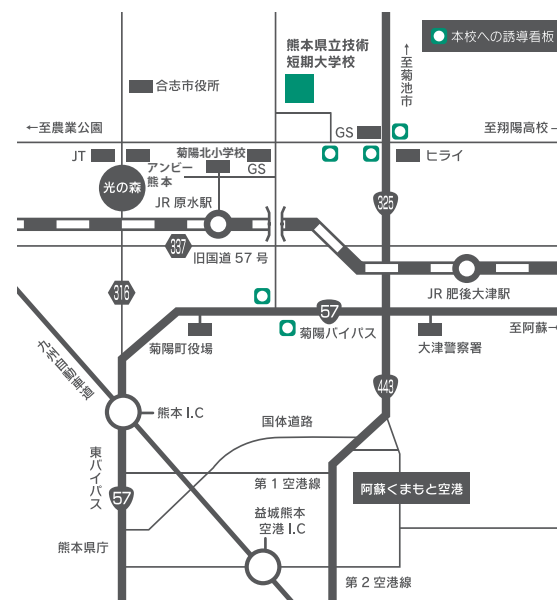
Kumamoto Prefectural
College of Technology
2022 College Guide



熊本県立技術短期大学校
Kumamoto Prefectural College of Technology



〒869-1102
熊本県菊池郡菊陽町大字原水 4455-1
TEL.096-232-9700
FAX.096-232-9292
HP:<https://www.kumamoto-pct.ac.jp/>



熊本県立技術短期大学校
Kumamoto Prefectural College of Technology

2022 学校案内

精密機械技術科
機械システム技術科

電子情報技術科
情報システム技術科

僕らの技術は 人々の発想を 自由にする。

技大で身に付けた「発想をカタチにする力」は、
「こんなことができるかも」と人々の発想を無限にする。
令和は僕らに託された。

CONTENTS

目次	01	精密機械技術科	07▶10	卒業生の活躍	23▶26
理念/校長あいさつ	02	機械システム技術科	11▶14	年間行事	27▶28
技大の5つの魅力	03▶04	電子情報技術科	15▶18	サークル活動紹介	28
技大の教育方針	05	情報システム技術科	19▶22	キャンパスマップ	29
3つのポリシー	06			入試情報	30

校長あいさつ



熊本県立技術短期大学校 校長 尾原祐三

沿革

1996年7月2日	熊本県立技術短期大学校条例制定
1996年9月25日	本校設置の労働大臣認可
1997年4月1日	開校(生産・産業・電子・情報)
2002年4月1日	映像システム技術科開設
2013年4月1日	学科再編(精密・機械・電子・情報)
2018年4月1日	群制度の開始
2020年4月1日	電子システム技術科を 電子情報技術科に改称

熊本から挑戦しよう！イノベーションが拓く新たな社会づくりに

私たちを取り巻く環境は大きな変革期にあると言われています。経済発展が進む中、人々の生活は便利で豊かになり、高齢化が進んでいます。一方、経済格差、地域格差が生じ、持続可能な産業化の推進などの多くの社会的課題が生まれています。これらを解決するためには、IoT (Internet of Things)、ロボット、人工知能 (AI)、ビッグデータなどの科学技術イノベーションを産業や社会に導入した新たな社会である Society5.0「経済発展と社会的課題を両立していく社会」の実現が必要です。この社会づくりの基盤の一つは「ものづくり」で、それを支えるのが専門の知識と技術を兼ね備えた技術者であり、ものづくりに対する情熱や様々な課題にチャ

レンジするパワーを持っている若い皆さんなのです。

熊本県立技術短期大学校は、新たな社会の創造に貢献できる実践技術者の育成を目的としています。本学では、基礎力を重視するとともに、少人数により実験・実習・演習を多く取り入れた実践的な専門教育により、確かな基礎力と専門性を身に付けることができます。

私たちは、ものづくりの世界に興味・意欲・情熱を持つ皆さんと一緒に、熊本の、日本の、そして、世界の新たな社会づくりに熊本から挑戦したいと考えています。多くの皆さんの入学を心からお待ちしております。

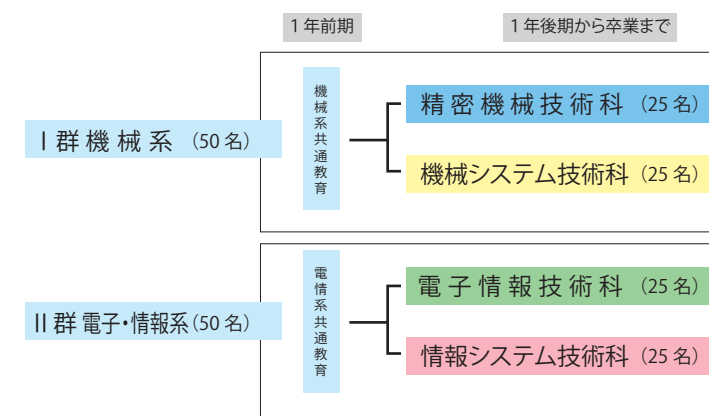
基本理念

熊本県産業の高度化、
高付加価値化に対応できる、
高度な技能及び知識を兼ね備えた
実践技術者を育成し、
本県の経済社会の発展に寄与する。

3つの目標

1. 地域産業に密着した人材育成機関とする
2. 地域産業界に開かれた大学校とする
3. 地域産業の技術の連携・交流に寄与する

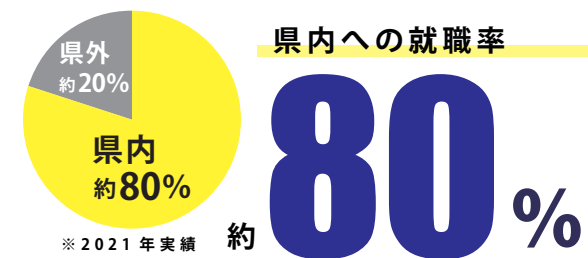
技術科の構成



技大の5つの魅力

01 就職率100%達成※ 圧倒的な就職率の高さ

創立以来
24年中22年
就職率



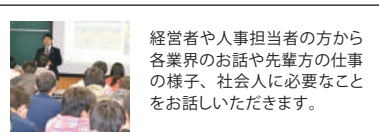
これまで地元（県内）企業・県外企業 累計約450社へ就職！
約2,000人を超える先輩たちがさまざまな企業で活躍しています。

就職サポートスケジュール

学生の仕事への興味・関心を高めるよう1年次からさまざまな行事・カリキュラムに取り組みと共に、担任との面談や面接指導を通して就職活動をサポートしています。

1年次

- 4月・新入生講話
- 5月・自己分析
- 6月・有職者講話
- 7月・キャリアデザイン
- 8月
- 9月・企業見学
- 10月



経営者や人事担当者の方から各業界のお話や先輩方の仕事の様子、社会人に必要なことをお話しいたします。



学科ごとに県内外の企業を訪問し、ものづくりの現場を見学します。実際の現場を目にするこで、自分の目標がより明確になります。

- 11月・企業実習
- 12月・インターンシップ
- 1月・ビジネスマナー
- 2月・インターンシップ発表会
- 3月・就職説明会



例年140社程本学にお越しいただき面談会を行います。様々な企業の方から説明を聞き、また直接質問できる大きなチャンスです。

2年次
4月~
就職活動本番 ▶ 一次試験面接 ▶ 最終面接 ▶ 内定
履歴書の添削 個別面接指導

02 4年制大学への進学道

大学の3・4年次に対応する国立の4年制大学である職業能力開発大学校応用課程（2年間）へ進学することができます。
また、職業能力開発大学校を経て大学院に進学することも未来の可能性を広げる大きな魅力です。



03 学費と少人数教育

他大学に比べ学費が経済的に抑えられ
企業見学や実習の費用も特別徴収なし

県内他大学の学費（入学金と授業料）の4～7割に抑えられ、時代にマッチしたカリキュラムで講義を受けることができます。
各科定員25名の少人数教育で指導にあたり、実験実習に全履修科目の4～5割を割り当てるため、知識とともに技能を身につけることができます。学んだことを深めたり、活用したりするために、資格取得や競技大会参加にも力を入れています。

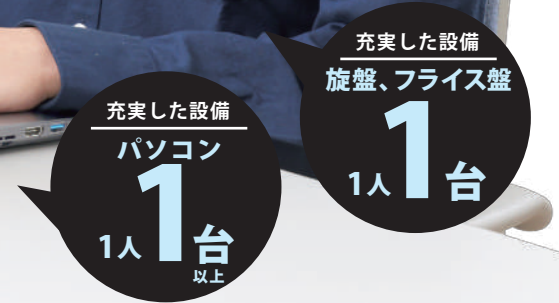
入学初年度に必要な学費

本 校	493,500円
県内公立大学	742,800円
県内国立大学	817,800円
私立大学 (A)	1,360,000円
私立大学 (B)	1,434,000円

※入学金（県内生）と授業料
※2021年度時点技大調べによる

04 充実した設備 最新鋭の機械

授業や実習で使用するパソコンや
旋盤・フライス盤は1人1台完備。
ノートパソコンを1人1台貸与し、オンライン授業でも活用。
また、大手企業でも使われる最新鋭の機械で学ぶので、
就職後に即戦力となる技術を身につけることができます。



05 ユニークな講師陣による 質の高い学習・就職サポート

全学科担任制で、きめ細やかなサポートを行います。

大手企業や大学で経験を積んだ先生たちが揃っており、学習面・就職面でも相談しやすい環境が特徴です。
また、担任制だからこそ学生1人1人にしっかりと目を向けることができ、ワンツールの就職面談・面接指導を通して、1人1人の性格・適性に合った企業選びのサポートを行います。



WEBで動画公開中！
<https://www.youtube.com/watch?v=GaPQDJzEBuA>



新時代

INDUSTRY4.0 SOCIETY5.0

に本気で挑む技大の教育方針

時代背景

技術は日進月歩。IoT、AI、ビッグデータといった最新の動向も押さえながら、いつの時代でも、どんな場面でも活躍できる、確かな基礎力と専門性を備えた技術者が必要です。企業からは、グローバル化の中で、変化に対応できる力、英語力、コミュニケーション力も求められています。そのような時代の中で、学生が自分の適性に合った専門性を伸ばし、その力を発揮できる企業に就職できるよう、本学でのサポートが必要です。

本学の特色

適性にマッチする就職、進路指導を
ALL 技大の体制で支援



就職率 100%
面談会など企業を知る機会が多数



1人1台の抜群の教育環境と
学生の希望と適性に基づく指導



学費面のコストパフォーマンスも良く
職業能力開発大学校への進学も可能

改革の取組

◆入試出願資格の拡大

推薦入試が全国の高校から
受験可能へ。

◆時代や企業ニーズを捉えたカリキュラムへ

各科で強みを発揮できる専門分野の
絞り込み、習熟度別クラス分け導入など、
これまで以上に基礎力と専門性及び
英語力、社会性を育てるカリキュラムに。

◆資格取得のサポート体制の強化

実践的な資格に絞り、
本学講師が手厚くサポート。

まず基礎から

I 群 [機械]

入学試験
(どちらか選択)

II 群 [電子・情報]

機械系

共通科目

1 年次前期

電子・情報系

共通科目

基礎力を重視した教育

【徹底した基礎教育】基礎数学の接続教育、英語、情報リテラシー等

【社会人基礎力の充実】

キャリア形成、読解力、文書作成力、コミュニケーション力の訓練等

【専門基礎の強化】

【専門入門講座の導入】専門分野の特徴や関連する職業の今後の展望



精密機械技術科

1 年次後期から
卒業まで
各群 2 学科
から選択

電子情報技術科

機械システム技術科

情報システム技術科

5 年後、10 年後を見据えた専門教育

【自信を持たせる教育】

各科が強みとする 3 ～ 4 分野に絞り込み理解を深める

【基礎力と専門力を強化する教育】

基礎から高度なレベルの教育を実施する系統的な科目構成

【応用力、挑戦力を養う教育】

卒業研究、資格取得、外部コンテスト、地域の連携活動

【グローバル、先端技術に対応した教育】

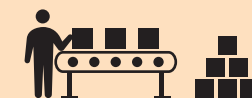
英語教材を利用した専門教育、IoT、AI に対応できる基礎教育の充実

実践的な資格に絞って資格取得を手厚くサポート

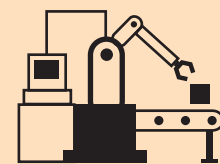
ものづくりの未来を担う 技大の3つのポリシー



SINCE.1800~
INDUSTRY 1.0
石炭とタービンをを用いた
蒸気機関による「産業革命」



SINCE.1900~
INDUSTRY 2.0
発電機とモーターを用いた
「電気機械の発明」



SINCE.1995~
INDUSTRY 3.0
「IT 革命」インターネットの普及と
半導体の縮小化



TO THE FUTURE
**INDUSTRY 4.0
Society 5.0**
第 4 次産業革命
AI と IoT 技術の発展

POLICY

1

アドミッションポリシー

「ものづくり」への興味・関心とともに、技術習得意欲を持ち、コミュニケーション力を磨いて先端技術に関わる新しい課題に積極的に挑戦する学生で、将来は地域産業の技術力向上および経済社会の発展に寄与する意欲を持っている学生を求めます。

こんな人に向いています

- ・ものづくりに興味をもっている人
- ・自分で考えたものを形にしたい人
- ・科学技術の発展に携わり更なる成長を目指す人

POLICY

2

カリキュラムポリシー

- (1) グローバル時代に対応した一般教育を行います。
- (2) 基礎科目から応用発展科目を系統的に学習できるカリキュラムを編成しています。
- (3) 知識・理解の定着を図るために、講義だけでなく実験・実習・演習を組み合わせた実践的な教育を行います。
- (4) 教育は少人数教育 (30 名以下)、実習機器は 1 人 1 台の教育環境を基本とします。
- (5) 学生の主体的・対話的学びを推進するアクティブ・ラーニング、学習意欲と学力向上を目指す習熟度別クラス、学生同士で学び合うグループ学習などを取り入れた教育を行います。

学修成果の評価

- (1) 試験・レポート等に基づき、学修成果の到達度を厳格に評価します。
- (2) 「卒業研究」においては、研究内容と卒業研究発表などにより評価します。
- (3) 2 年間の学修成果は、取得単位数などにより総合的に評価します。

POLICY

3

ディプロマポリシー

各技術科が定めた学修成果を達成すべく編成・実施された教育プログラムを学修し、所定の単位を取得した者に、本学の卒業を認定します。また、卒業年度に実施する技能照査の合格者には技能士補 (※) の称号を授与します。

※技能士補は、所属科に関連する一部の検定職種において技能検定 2 級の学科試験が免除されます。

学修成果

- 社会性・国際性
- 倫理観
- 課題解決能力
- コミュニケーション力
- 主体的に学び、考える能力
- 計画性
- 専門分野に関する科学技術の基礎知識と理解
- 強みとする専門分野における基礎力、応用力、挑戦力

1 群
〔機械〕

精密機械技術科

教育目標

機械装置の設計および機械部品の精密加工技術を身につけ、電気技術等の電動化技術の基礎を経験して、生産工程の設計・管理に携わることができる生産技術者を育成します。

*生産技術 production technology
家電製品や自動車等の機械部品を作る際に、いかにして品質が高く、作りやすく、効率的に生産することができるかを考えて製造工程を設計する技術。

アイデアを形にする実践知で 時代が求める ものづくりエキスパートの育成

製造業のニーズに応える
様々な加工技術を学ぶ

1 ものづくりのプロフェッショナルを目指す

コンピュータを用いた立体図や動作シミュレーション、強度計算をもとに安全性や信頼性を考慮した機械装置の設計を行い、ものづくりのプロフェッショナルを目指します。

2

実践的な学習スタイルで 確かな経験を積み重ねる

専門分野の学習はもちろん、技術者を証明する資格試験もサポートします。また、競技大会への参加も行うので、より実践的な経験を積み重ねることができます。

3

1人1台使用できる 実習設備でものづくりができる

工作機械やコンピュータを1人1台使用することができます。大手企業でも実際に使用されている3Dプリンタや自動制御の工作機械によるものづくりに取り組みます。

精密機械技術科の就学後は？



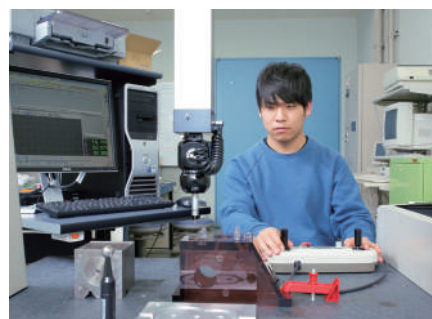
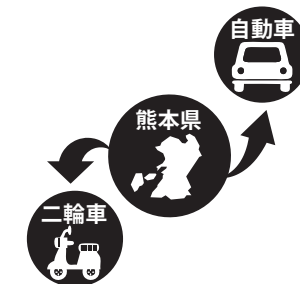
人々の暮らしを支える 人材として活躍する

日本は精密機械工業の先進国として世界から認知されています。コピー機やエアコン・スマホといった身近なものから、自動車・飛行機に使用されるセンサ・航空計器などの設計・製作に携わり、人々の暮らしを支える人材を目指します。



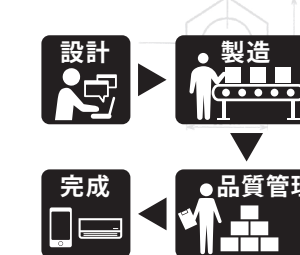
地元熊本で未来のものづくりに 貢献する技術者になる

熊本県には半導体や二輪車、自動車等のメーカーの生産拠点が集積しており、自動車部品や金型を製造できる人材が必要不可欠です。CAD/CAM/CAEなどを活用し、未来のものづくりに貢献できる技術者を育成します。



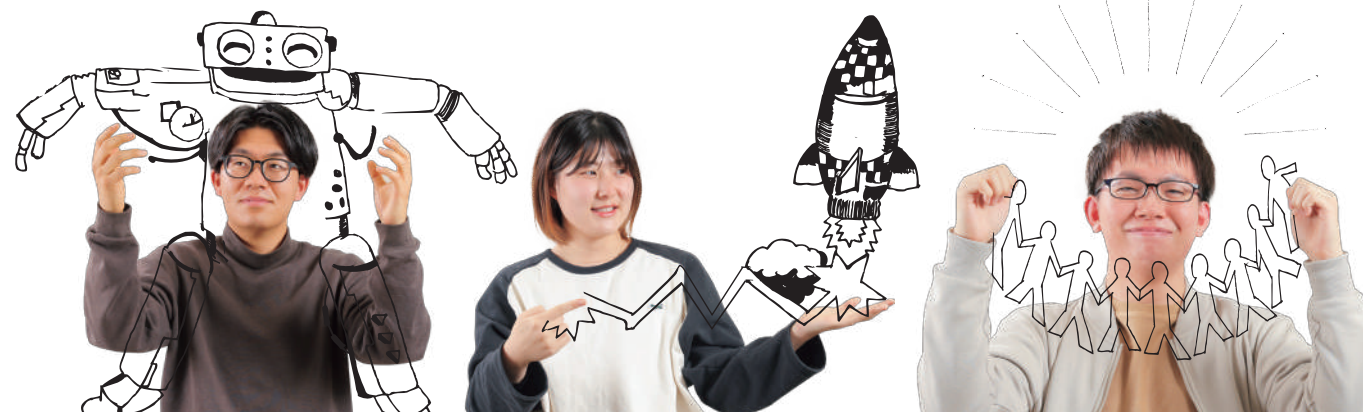
即戦力として必要とされる エンジニアになる

知識や技術だけでなく、設計から完成までのフローを熟知し、品質管理についての理解を深めます。単なる「つくる」にとどまらず、多くの人々から現場で即戦力として必要とされるエンジニアへの道を追究します。



学生の声

Q1: 熊本県立技術短期大学校を選んだ理由はなんですか？
Q2: この学科に入る前のイメージと入った後の感想を教えてください。



川口大樹 (カワグチ ダイキ)
熊本県立球磨工業高等学校 機械科出身

尊田菜月 (ソウダ ナツキ)
東海大学付属熊本星翔高等学校 普通科出身

内田大翔 (ウチダ ヒロト)
熊本県立大津高等学校 普通科出身

A1: 充実した学習環境の中で、専門性の高い技術を学べるところに魅力を感じたから。
A2: 入学前は、大学の講義は難しいイメージがありましたが、基礎から教えてくださるのでよく理解できます。自分次第でどこまでも成長できる学校です。

A1: 精密機械技術科の先生の技術力の高さに憧れて、私もそのような技術を身につけたいと思い、志望しました。
A2: 工業系なので不安がたくさんありましたが、先生方の手厚いサポートがあって、今では自分の資格取得のため頑張っています。

A1: 私が精密機械技術科を選んだ理由は、「自分の手で製品を作る達成感がある」と感じたからです。
A2: 入学前はとても数学が苦手だったので、授業について行けるか不安でしたが、しっかり高校基礎から学べるので数学が苦手な人でも大丈夫です！



WEBで動画公開中！

https://www.youtube.com/watch?v=l3BygsP-_qs&t=113s



1 群
〔機械〕

機械システム技術科

教育目標

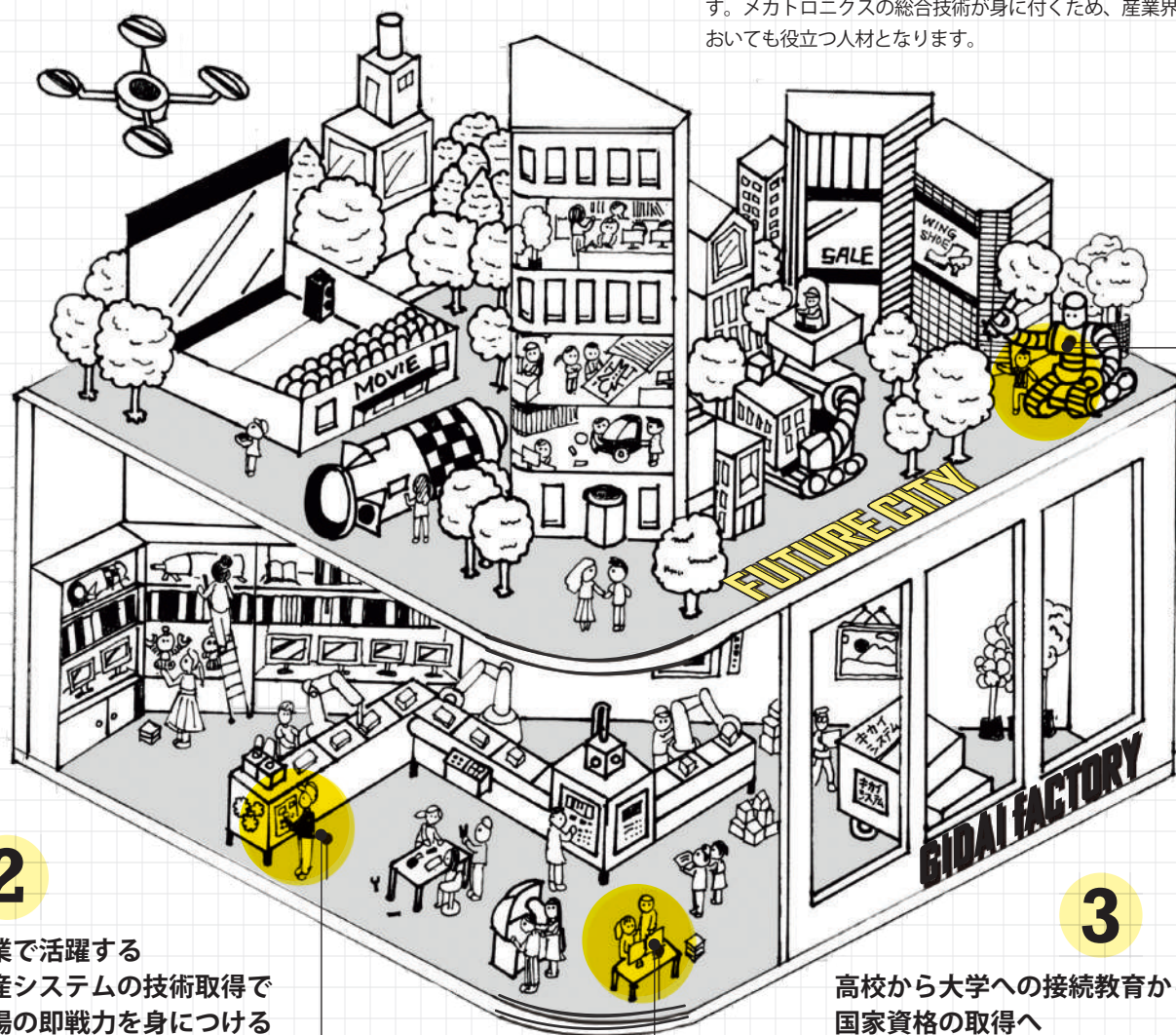
機械装置を製造するための設計・製作技術とメカトロニクス化技術を学ぶことで、自動化機械装置や自動生産システムを設計し製作できる実践技術者の育成を目指します。

*メカトロニクス

機械工学をベースに、電気・電子工学、情報工学を組み込み、制御工学で知能化する技術分野、またはその技術により動く機械。

人とロボットが協働する豊かな未来社会を トータル技術で支える エキスパートの育成

ロボットとコンピュータを組み合わせた生産システム技術を学ぶ



2

工業で活躍する
生産システムの技術取得で
現場の即戦力を身につける

大手企業でも使われる機械モジュールや産業用ロボットを使って、工場の生産システムの技術を学ぶことができます。ロボットやコンピュータの組み合わせで、一つの完成された生産システムとして構築し、トラブルシューティング等の保守メンテまで、現場における即戦力となる技術を学ぶことができます。

1

頭に思い描いたロボットや機械を
造り出し、自在に動かす

機械工学の技術と、電気・電子、情報の技術でロボットや機械を知能化し、自在に動かすことができるようになります。メカトロニクスの総合技術が身に付くため、産業界においても役立つ人材となります。

3

高校から大学への接続教育から
国家資格の取得へ

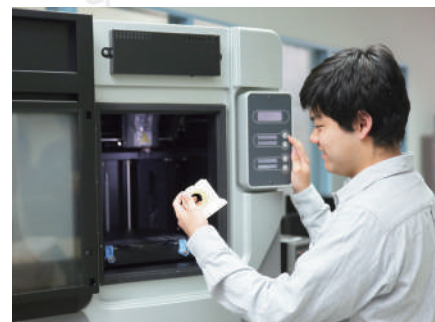
工業教育の基礎となる数学・物理は高校の復習から始めるので、これまで工業系の勉強をしたことがなくても無理なく専門の授業に入っていけます。さらに、国家資格である「技能検定（機械製図 CAD 作業、電気系保全作業、シーケンス制御作業）」などの受検もサポートします。

機械システム技術科の就学後は？



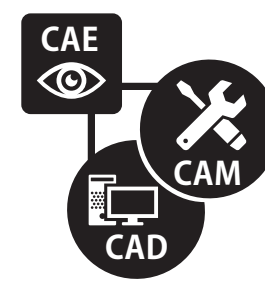
メカトロニクス化技術を活かして
企業のエンジニアとして活躍する

知的な機械を創造できるメカトロニクスの実践的な技術を得ることで、様々な企業のエンジニアとして第一線で活躍することができます。また、製品の設置やメンテナンスを行うフィールドエンジニアとしても卒業生が多数活躍しています。



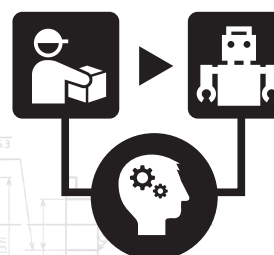
機械の設計・製作の技術を活かして
ものづくりのプロになる

機械部品の設計・製作にはコンピュータが大きな役割を果たしていて、CAD で設計を行い、CAE で強度の確認や複数の部品が組み合わさったメカニズムの干渉のチェック、最後に CAM で自動加工を実施します。これらの技術で、多くの卒業生が製造メーカーで活躍しています。



人材不足の企業の命題である
自動化に向けた機械の設計士になる

人材不足の影響で、仕事を自動化したいという企業に対して機械の開発・設計を行う人材が多く求められています。機械システム技術科では、総合的に機械・機構設計の技術を得ることができるため、卒業後は企業を支える人材として活躍しています。



学生の声

Q1：熊本県立技術短期大学校を選んだ理由はなんですか？
Q2：この学科に入る前のイメージと入った後の感想を教えてください。



川口 亜門（カワグチ アモン）
熊本県立大津高等学校 理数科出身

A1：もともと数学に興味があり、機械の中でも制御系の分野であれば数学を活かせると思ったからです。
A2：2年という短い期間なので、とても大変でほとんど余裕がないと思っていましたが、授業やサークルなどを通じて学生同士の仲を深めたり、リフレッシュしたりと決して楽ではありませんが充実した学生生活を送ることができています。

松永 紘斗（マツナガ ヒロト）
熊本県立熊本工業高等学校 機械科出身

A1：将来、ロボットに携わりたいと思っていて、そのための制御や機械設計の技能を学ぶことができるからです。
A2：最初から明確な目標をもって入学する人が多いイメージでしたが、実際は悩んでいる人も多く、勉強しながら目標を見つけていける環境でした。

山室 太輝（ヤマムロ タイキ）
ルーテル学院高等学校 普通科（理数特進コース）出身

A1：就職先が多く、プログラミングやシーケンス制御、CAD 作業に興味があったからです。
A2：普通科出身なので授業についていけるか不安でしたが、先生にも相談しやすく、また友達と教え合うこともできるので、理解が深まりました。



WEB で動画公開中！

<https://www.youtube.com/watch?v=9yUw6gZBhol>





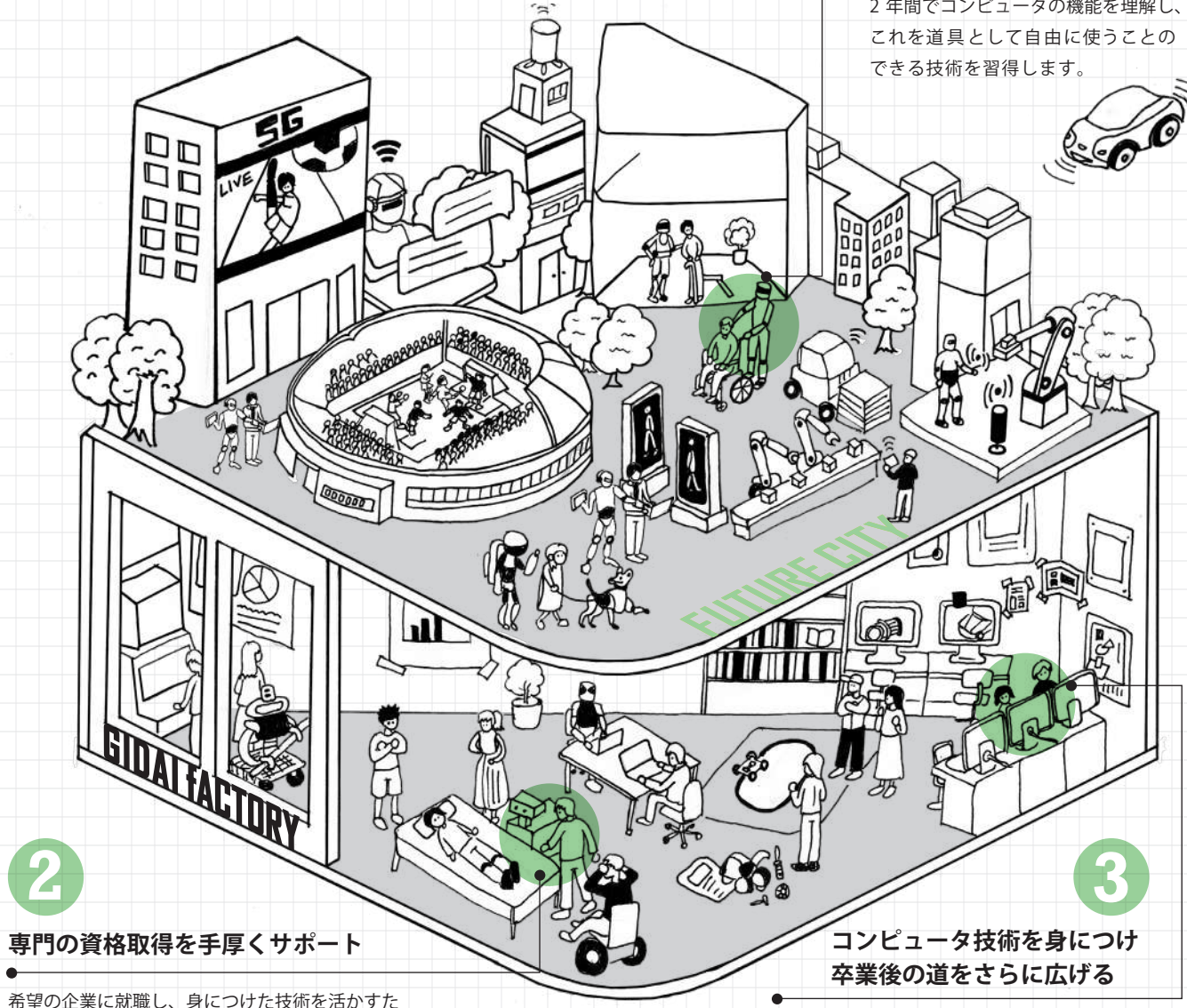
3 - 14

II群 〔電子〕 〔情報〕

電子情報技術科

ハードウェア技術を中心に ソフトウェア技術を融合し、 システム構築ができる電子技術者の育成

エレクトロニクス&コンピューター技術を
ハードからソフトまで



2
専門の資格取得を手厚くサポート

希望の企業に就職し、身につけた技術を活かすために、専門の資格取得もサポートします。「電子機器組立て技能士」「基本情報技術者」「ITパスポート」など受検指導します。

教育目標

本科では、電子、情報、通信技術の知識をもち、これらを融合した技術を駆使して各種コンピュータシステムを構築できる技術者を育成します。

※ 2020 年度から電子システム技術科は「電子情報技術科」に改称しました。

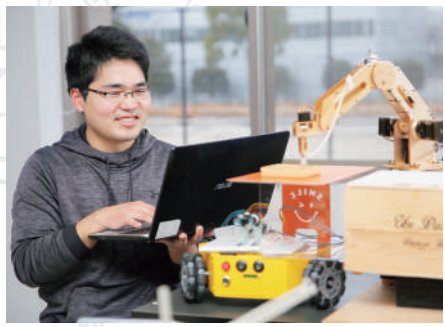
1 将来役立つ確かな技術と自信を養う

自律走行ロボット製作では、電子回路CAD 設計からプログラム作成を行い、2 年間でコンピュータの機能を理解し、これを道具として自由に使うことのできる技術を習得します。

3 コンピュータ技術を身につけ卒業後の道をさらに広げる

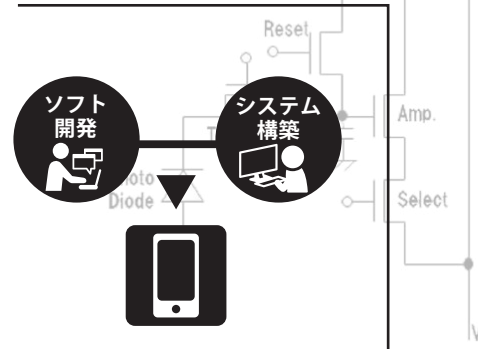
センサからインターフェースを含む電子回路設計に加え、プログラムや回路を結びつけるネットワーク技術を身につけて、卒業後の活躍の場を広げます。

電子情報技術科の就学後は？



幅広いシステム構築するエンジニアとして活躍する

スマートフォン、情報機器、自動車のAI、自動運転、組込みソフトウェア開発、システム構築のエンジニアとして活躍することができます。



電子・情報技術を応用しスマートな製品をつくる

スマートウォッチとは、腕時計のデザインの情報機器で、画面タッチ操作、メール、健康管理、電子マネーのアプリ機能が搭載されています。電子&情報分野のエンジニアとして健康管理、福祉への応用にも貢献できます。



システム技術を活用し人々の豊かな暮らしを支える

今後のより良い暮らしの実現には、コンピュータを用いた情報通信技術（ICT）が重要です。本学科で学んだシステム技術で街づくりや医療・介護、インフラ整備などを支えます。



学生の声

Q1：熊本県立技術短期大学校を選んだ理由はなんですか？
Q2：この学科に入る前のイメージと入った後の感想を教えてください。



村上 優輝 (ムラカミ ユウキ)
熊本県立熊本工業高等学校 電子科出身

A1：高校で学んだ電子分野の知識を活かして、もっと自分のスキルを磨きたかったから。
A2：電子系や情報系などの専門分野だけ勉強するイメージでしたが、英語や数学など基本的な教科も並行に勉強できるので幅広く学べる学校です。



吉松 楓華 (ヨシマツ フウカ)
ルーテル学院高等学校 普通科出身

A1：学科を決める際、自分のしたい事が不明確だったので幅広く学べる学科を選びました。
A2：入学前は専門的で難しい勉強をするというイメージが強く、ついていけないか不安でした。しかし基礎から学べるので普通科出身でも授業を理解できました。



古木 弘貴 (フルキ コウキ)
熊本県立東稜高等学校 普通科出身

A1：自分でプログラムを作り実際にマイコンを動かすことに魅力を感じたから。
A2：一人一台機材があり、充実した講義を受けることができるイメージでした。生徒との距離が近く、気軽に質問できる学校です。

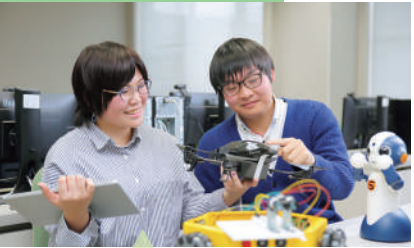


WEB で動画公開中！
<https://www.youtube.com/watch?v=DN2eMPBGTrU>

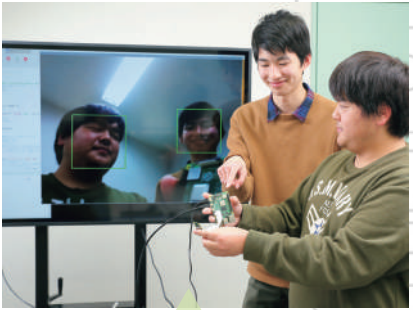




01：アルゴリズム実習
センサなどから得られるたくさんの情報を並べ替えたり、必要な情報を抜き出したり、コンピュータで自動的に処理させる手法を学びます。



02：情報通信工学実習
組込み機器やIoT機器を有線、無線ネットワークを介してインターネットに接続する方法を学びます。



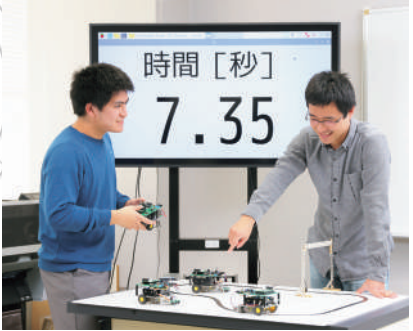
03：画像処理工学実習
カメラの画像から人間の眼の代わりとして利用できるように、基本的な画像処理・認識技術を学びます。



05：電子回路CAD実習
あらゆる電子機器に内蔵されているプリント基板の設計方法を学びます。



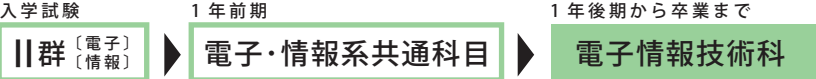
06：システム組立て実習
白や黒のラインを追従して走るライントレーサを1人1台製作してプログラムも自分で考えます。



04：組込み機器製作実習
マイコン、カメラ、センサを無線ネットワークに接続してデータを収集し、パターン認識などの判断処理を行う基礎を学びます。

※通常はマスクを着用し、感染症対策を実施の上授業を行っています

カリキュラム

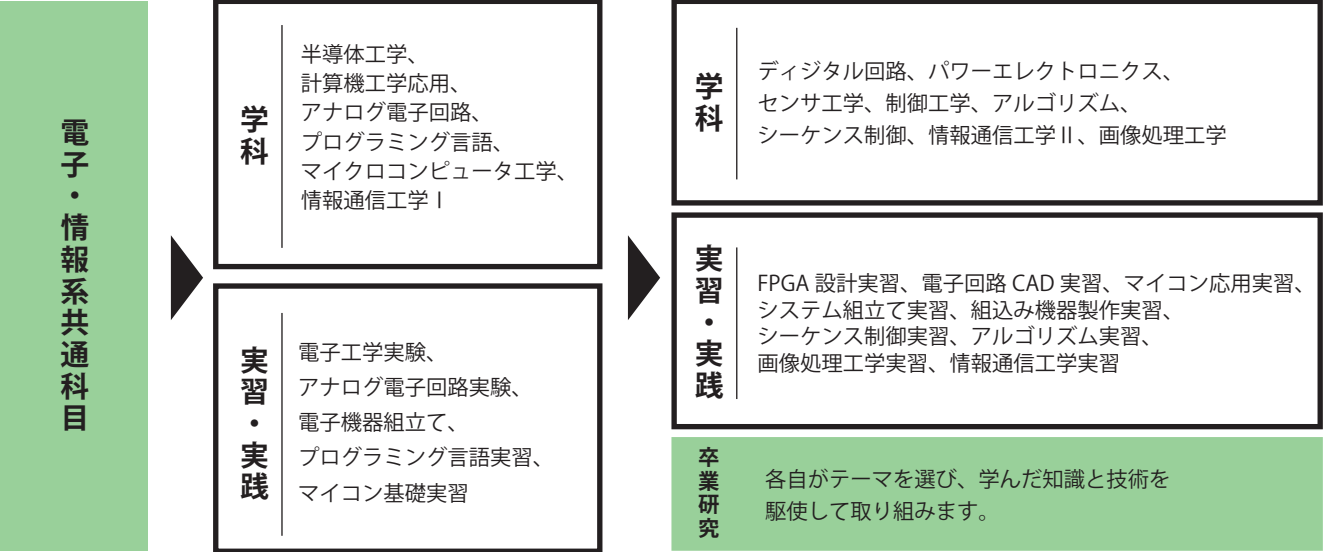


基礎から応用へ積み上げていく丁寧な教育で、1 年前期では電子・情報系を中心にII 群共通科目を学んでいきます。1 年後期から卒業までは〔電子情報技術科〕と〔情報システム技術科〕に分かれ、専門的な技術や資格取得に繋がる分野を学びます。

1 年次前期

1 年次後期

2 年次



先生と学生で作る 2 年間の集大成

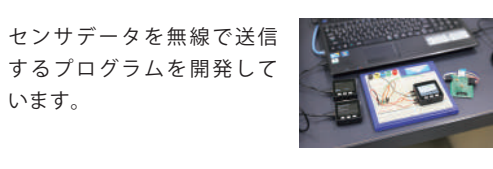
卒業研究

研究テーマ 原位置変形測定システムの開発

加速度センサデータの無線による送受信とその可視化を研究します。

電子情報技術科
講師 福田 真
(フクダ マコト)

電子情報技術科
2 年 簗田 彩愛
(ミノダ アミ)



センサデータを無線で送信するプログラムを開発しています。

先生からの総括

学外の方との共同研究ということで成果を出さなければならぬというプレッシャーがあったと思います。その中でも装置のハンダ付けといったハードの技術とセンサデータの送受信というソフトの技術を駆使して卒研に取り組んでいました。

学生の感想

センサデータを取り込みそれを送受信するための機材やプログラムの作成や改善をするのが大変でした。特にプログラムは授業で勉強した知識に加え応用的なものもあり難しくはありましたが先生と一緒に考え作成しました。

受賞歴・取り組み



1 からすべてを作り上げ、ロボット競技会に挑戦！！
毎年、ロボット競技会に出場しています。ロボットがピンポン玉を 1 個ずつ取り、指定された 5 箇所の投入口に全て入れ終わるまでの時間と得点を競います。今のルールは 2014 年から続いていて、これまで準優勝 2 回、3 位 1 回、特別賞 1 回という成績を収めています。勝負だけでなく、独創性を重視して楽しんで製作しています。



受賞歴 2016 年 準優勝
2017 年 審査員特別賞

就職可能な職種と就職状況

職業図鑑

取得可能な資格

- ◆技能検定 2 級 (3 級) 電子機器組立て
- ◆IT パスポート
- ◆基本情報技術者
- ◆デジタル技術検定
- ◆組込みソフトウェア技術者試験クラス 2
- ◆工事担任者
- ◆IoT システム技術検定

マイコン応用・制御機器の製作、半導体製造装置の製作、保守・フィールドエンジニア、IT スペシャリスト、プログラマ、システムエンジニア

職 種	コンピュータシステム・ 組込みシステム・ソフト開発		電子機器設計・製造・ 電子部品デバイス製造・その他の製造		電子回路設計・制御システム・ その他の関連職種	
県 内	・ KSK 九州	・ トリニティ	・ 荏原製作所	・ 野田市電子	・ SYSKEN	・ タイヘイテクノス
	・ Hmcomm	・ 日本アイティディ	・ 大塚産業	・ 堀場エステック	・ アイディエス	・ テクノデザイン
	・ NIK	・ 野毛電気工業	・ 大津電子	・ 三笠産業	・ 応用電機	・ 西田鉄工
	・ アイセス	九州事業所	・ くまさんメディクス	・ ミクロ技研	・ オオクマ電子	・ 平田機工
	・ イノス	・ バインシステム	・ 金剛	・ 三菱電機 熊本工場	・ オムロン阿蘇	・ 不二電気工業
	・ 新電元熊本	・ ベアールートシステム	・ サントリービール	・ 山清工業九州	・ シーディア	・ ブリパテック
	・ テクノリサーチ		・ ソニーセミコンダクタ	・ ワイエイシイ	・ 白鷺電気工業	・ プレシード
	・ 電盛社		マニファクチャリング	メカトロニクス	・ 末松電子製作所	・ マイクロ電子サービス
県 外	・ mirate	・ マイクロテクノロジー	・ 青山製作所	・ ダイキン工業	・ Sohwa & Sophia Technologies	
	・ 上野精機		・ 大分キャノンマテリアル	・ フジテック	・ 旭化成テクノシステム	
	・ カノノ製作所		・ 京セラ 川内工場	・ 三井ハイテック	・ 九電工	
	・ ジェイエムテクノロジ		・ 京セラ 国分工場	・ ラムリサーチ	・ 日本リーテック	
	・ システムアーク		・ シチズン時計		・ パナソニックコンシューマー	
	・ 富士通エクサシステムズ		マニファクチャリング		マーケティング	

II群
〔電子〕
〔情報〕

情報システム技術科

コンピュータシステムを設計・構築・管理でき、 データとデジタル技術を活用できる情報通信技術者の育成

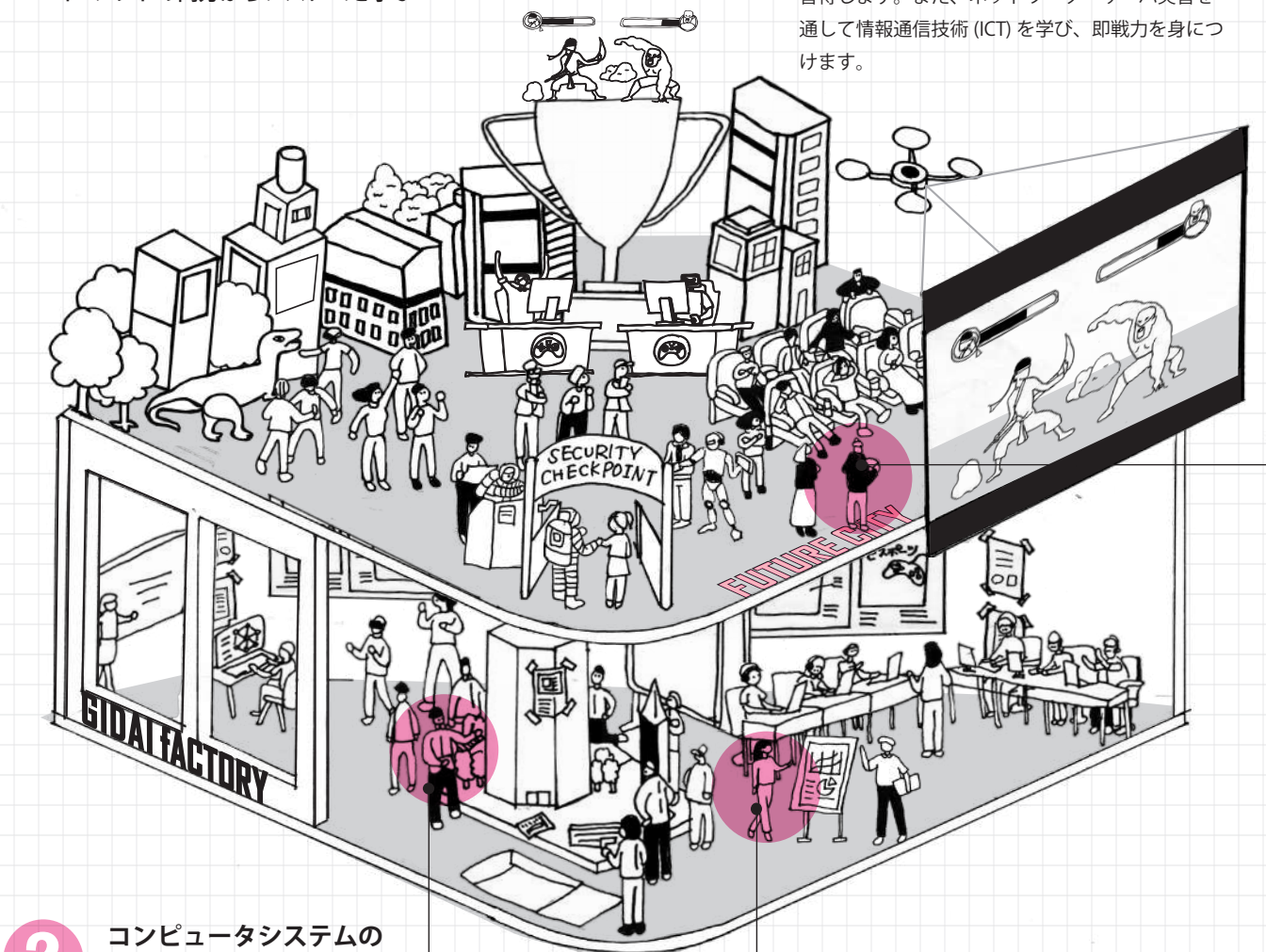
プログラミング技術を中核に、
ハード・ソフトの両方からシステムを学ぶ

教育目標

本科では、実践的な情報システムの設計・構築・管理に関する技術を習得し、高度情報化社会を支える様々な企業で活躍できる技術者を育成します。

1 企業で即戦力として活躍できる 磐石な実力を習得する

プログラミング言語の授業や画像処理、マイコン開発などを通して各種ソフトウェアの開発技術を習得します。また、ネットワーク・サーバ実習を通して情報通信技術 (ICT) を学び、即戦力を身につけます。



2 コンピュータシステムの プロとして貢献するための 基礎力を養う

接続教育によって数学や物理などの基礎力を養い、その上で情報化社会でコンピュータシステムのプロとして発展に貢献するために必要な知識や技術を積み重ねていきます。

3 コンピュータシステムだけでなく コミュニケーション能力も 向上させる

コンピュータシステムの技術習得からその活かし方まで身につけます。グループ実習や卒業研究報告会などを通じてコミュニケーション能力の向上にも注力しています。

情報システム技術科の就学後は？



情報技術の総合力を身に付け エンジニアとして即戦力になる

コンピュータを中心とした構成要素を学び、システム設計、構築などの情報技術の総合力を身につけます。幅広い分野のシステムを担当できるエンジニアとして企業の即戦力となれます。



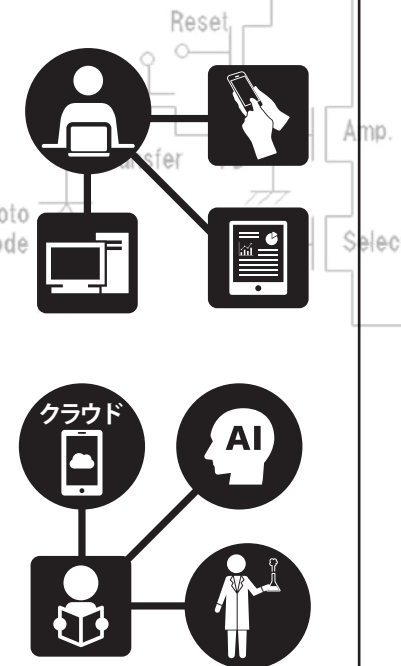
新しい未来を造る 技術者として欠かせない存在になる

AI (人工知能) や VR (仮想現実)、従来より手軽に色々なサービスを受けられるクラウドなどの技術が著しい発展を遂げています。未来を造る研究・開発に欠かせない技術者は、今後も雇用の拡大が見込まれます。



本学での学びを大いに活用し 必要とされる人材になる

理論だけでなくネットワーク構築などの多様な実習で設計や監視の知識・技術を持った企業の即戦力となる人材を目指します。近年ではセキュリティ強化など、本学での学びを活かせる場が増えています。



学生の声

Q1: 熊本県立技術短期大学校を選んだ理由はなんですか？
Q2: この学科に入る前のイメージと入った後の感想を教えてください。



清水 綾 (シミズ アヤ)
熊本県立熊本農業高等学校 畜産科出身

A1: 農業と IoT が合わさった農業機械を動かす、プログラミングなどを勉強するためです。
A2: とっても勉強が難しく授業などにもついていけないイメージでした。授業が分かりやすく、わからないところは質問するとすごく丁寧に教えてくれます。



春日 聖也 (カサガ セイヤ)
東海大学付属熊本星翔高等学校 特進クラス出身

A1: IT 業界で仕事をしていく上で必要な幅広い分野を学べるところに魅力を感じたから。
A2: 実習での学びを活かして分野を少しずつ体験していくイメージでした。実践的な知識や技術を学べるので興味をもち学び続けることができる学校です。



下村 優弥 (シモムラ ユウヤ)
熊本市立千原台高等学校 情報科出身

A1: IT 関係の仕事に就きたいと考えていて、就職率が 100% という点に魅力を感じたから。
A2: 高校で勉強したことがない分野なので、ついていけるか不安だったけど、先生方が丁寧に教えてくださり、友達と協力しながら楽しく勉強できています。



WEB で動画公開中！

<https://www.youtube.com/watch?v=iYQaMGpKEQ&t=3s>



情報システム技術科

授業風景



01：Java 実習

Java 言語を用いてプログラムを作成し、講義の内容を確認しながら、技法・手法を身に付けます。



02：マルチメディア工学実習

マルチメディア分野の応用技術である CG について、実習を通じて理解を深めます。



03：データベース実習

データベースの操作から設計まで学び、Web データベースアプリケーションを作成します。



04：クラウドシステム

サーバソフトの導入、環境設定などを行い、実際に運用している環境を構築する技術を学びます。



05：ネットワーク施工実習

光ファイバ接続やレーザー光通信などネットワークインフラ構築に関する技術を習得します。

06：半導体デバイス工学実習

最新の評価用ボードやオシロスコープなどの評価装置を用いて画像機器評価の技術を学びます。



※通常はマスクを着用し、感染症対策を実施の上授業を行っています

カリキュラム

入学試験
II 群〔電子〕
〔情報〕

1 年前期

電子・情報系共通科目

1 年後期から卒業まで

情報システム技術科

基礎から応用へ積み上げていく丁寧な教育で、1 年前期では電子・情報系を中心に II 群共通科目を学んでいきます。1 年後期から卒業までは〔電子情報技術科〕と〔情報システム技術科〕に分かれ、専門的な技術や資格取得に繋がる分野を学びます。

1 年次前期

1 年次後期

2 年次

電子・情報系共通科目

学科

ネットワーク工学、プログラミング言語、データベース、半導体デバイス工学、計算機工学、アルゴリズム

実習・実践

プログラミング言語実習、Java 実習、データベース実習、ネットワーク施工実習、半導体デバイス工学実習

学科

オペレーティングシステム、ソフトウェア工学、通信工学、図形処理工学、クラウドシステム、情報セキュリティ

実習・実践

画像処理工学実習、マルチメディア工学実習、ネットワーク工学実習、アルゴリズム実習、マイコンプログラミング実習

卒業研究

各自がテーマを選び、学んだ知識と技術を駆使して取り組みます。

先生と学生で作る
2 年間の集大成

卒業研究

研究テーマ

眼鏡型 AR デバイスの普及を見据えた UI の試作

手や顔の動き、眼鏡型のデバイスの機能を利用した AR 用ユーザインタフェースを設計・制作しています。

情報システム技術科
准教授 糸川 剛
(イトカワ ツヨシ)

情報システム技術科
2 年 西岡 佑記
(ニシオカ ユウキ)

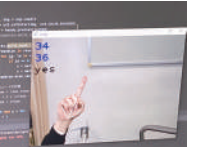
先生からの総括

本学の講義や実習で習う技術だけではなく、自力で試行錯誤しながら新しい技術を身に付ける経験や、目的を達成するものづくりのよここびは、今後のエンジニア人生を支えてくれるものになると思います。

学生の感想

AR で利用する複数のユーザインタフェースを作成しました。そのための開発環境作りやプログラミング言語の習得などをしましたが、AR についての参考文献が少なく、開発の知識を身に付けるのに苦労しました。

カメラに写る手の座標によって Yes か No の二値を選択する UI の試作プログラムです。

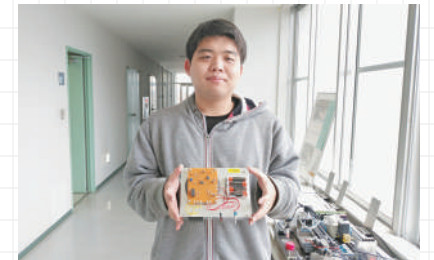


受賞歴・取り組み



独自のシステムを活用した
資格取得支援！！

情報系の学科を選択しましたが、今後さらに発展していく IoT などを中心に、技術者はソフトウェアだけでなくハードウェアに対する知識も求められます。入学後に初めて学ぶ内容も多いため大変ですが、先生方の懇切丁寧な指導もあり、「電子機器組立て 3 級」の資格を取得することができました。その経験はソフトウェアの勉強にも生かされていると実感しています。



就職可能な職種と就職状況

職業
図鑑



プログラマ



システム
エンジニア



カスタマー
エンジニア



組み込み
エンジニア

ネットワークエンジニア、光ファイバ施工エンジニア、半導体デバイスエンジニア

資格
取得
可能

- ◆IT パスポート
- ◆基本情報技術者
- ◆応用情報技術者

職種	情報・ソフトウェア	通信・インフラ	製造・その他
県内	- BBS アウトソーシング熊本 - Hmcomm - SCSK ニアショアシステムズ - アクセント - アイデアスジャパン - エヌ・アイ・ケイ - オーロラユニオン - 再春館システム - システムニシツウ	- SYSKEN - 三栄テレコム	- 杉養蜂園 - ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング - 不二ライトメタル
	- ソフトウェアビジョン - テクノクリエイティブ - テクノコーポレーション - 電盛社 - トライアンプ - 西日本エグゼック - ニッセイコム - 九州デジタルソリューションズ - マインドソフトウェア		
県外	- mirate - TDC ソフト - エムソフト - ジェイエムテクノロジ - システムアーク - ソフト九州	- トリオグループ - 富士通エフサスシステムズ	- アソウ・アルファ - 大分キャノン - 京光製作所 - 京セラ - メイテックフィールドーズ



精密機械技術科

現場の人が使いやすいように
考えながら図面を作り
新しい製品を世の中へ

合志技研工業は、主に二輪（バイク）のマフラーや車体フレームを生産している会社です。私は技術ブロックで、新しい機種 of 量産で使用する設備を検討・準備し、図面通りの製品ができるように調整する仕事をしています。予想外のこともたくさんあるのですが、実際に製品を作る部門が、その設備で生産し問題なく製品が出来たときにはとてもやりがいを感じます。技大では基礎から実際の仕事でも使うような機械の加工実習まで学べるので今の仕事の基盤になっています。普通高校出身の私ですが、ここで2年間しっかりと学んでいけば技術者として働ける魅力ある大学なので、ぜひ来てみてください。

Boss Message

上司メッセージ

新入社員でも
即戦力として活躍する
リーダー的存在です



新入社員として入社し現場実習を経て、技術部 新機種ブロックで約3年間一緒に仕事をしてきました。技大卒ということもあり、入社当初から工作機械が使える、またCADや設計の知識もあったことから即戦力として活躍し、大変助かっています。今では入社3年目とは思えない程のスキルを身に付けて、同年代を牽引する存在になっています。

工場管理課
技術主任 花原 裕樹さん

吉留 聖人(ヨシトメマサト)さん



本学を選んだ理由は？

ものづくりに興味があり工業系の大学などを調べている際、技大を見つけました。2年間で大学に近い量の勉強をすることができ、社会で早く活躍出来るのが魅力に感じ選びました。また就職率が100%ということで将来就職にも困らないのも魅力に感じました。

在学中、一番の思い出は？

卒業研究でエコ電レース仕様の車を作成したことです。アルミの溶接や配線など全くわからない状態から始めて最終的には走るようになったのでとても嬉しかったのを覚えています。

吉留 聖人

精密機械技術科
【2016年度卒】
合志技研工業株式会社 技術部 技術ブロック

先輩活躍する

機械システム技術科

【2017年度卒】
サントリービール株式会社

九州熊本工場

西田 啓亮



機械システム技術科

技大での専門的な学びを
最高品質のものづくりに活かし
お客様をワクワクさせたい

サントリー九州熊本工場はビール等の酒類に加え、コーヒー・茶等の清涼飲料も製造するハイブリッド工場です。私は充填工程で、缶容器に中味を充填し、密栓するラインに従事しています。サントリー製品を常に最高の品質でお届けし、お客様にワクワクしてもらうために、大切な役割を担っています。技大の2年間で学んだ、加工や制御の実習を通しての様々な知識や、基盤となる技術は、現在の仕事でも活かしていますし、技大での学びの基盤があつてこそそのさなる深い知識や技術を身に付けることができ、自分自身の成長を日々実感しています。技術者として成長するためにも知識や技術をもっと学んでいなくてはいけないと思っています。

Boss Message

上司メッセージ

「安心・安全な最高品質
の製品」を作る気持ちの
強い人材です



西田さんは、パッケージング部門缶充填グループに所属しており、缶容器へ飲料を充填・密栓する設備のオペレーションに携わっています。それぞれに重要な品質を造り込む設備で、巨大なメカトロ設備から、1/100mm精度の細かい調整が求められる設備まで、様々な設備をオペレーションしています。現在は、充填設備の保全業務の担当者としても日々奮闘しています。これからも自分のスキルを大いに発揮し活躍してもらうことを期待しています。

パッケージング部門
缶充填グループ課長 宮元 洋和さん

西田 啓亮 (ニシダ ケイスケ) さん



本学を選んだ理由は？

小さい頃からおもちゃのロボットを制作したりするのが好きで、ものづくりに興味があったため、機械加工や制御等の実習を通して幅広い技術を学ぶことができる技大を希望しました。入学してからは、工業力学や油空圧等の機械要素についてだけでなく、生産工学や安全衛生工学など、技術者としての基本を学ぶこともできました。

在学中、一番の思い出は？

制御や機械加工の実習も印象に残っていますが、特に印象深いのがCADを用いた作図です。ネジなどよく目にする汎用部品から専門的な部品まで実際の部品を用いて寸法の測定をし、構造を理解しながら作図しました。また、グループ作業で、皆で知恵を出し合って一つの大掛かりな部品を完成させた時の達成感は今でも心に残っています。



電子情報技術科

試行錯誤しながら作り上げ 世の中の製品になっていく

弊社は新電元工業株式会社の事業部門と連携して、電源装置、電装製品の開発などを行っています。私は、製品開発技術部で「EV 車載用充電器」の製品開発をしており、製品を制御するマイコンのソフト設計を主な業務として取り組んでいます。製品に対して要求が難しい時もありますが、先輩にアドバイスをもらいながら試行錯誤をし、「できないと思っていたことが実現したとき」はとても達成感を感じます。私は普通高校から進学し、開発も設計も全然知らない世界だったので、技大でプログラムの知識に触れたことはよかったです。また、実習で今使用している計測器に触って慣れていたのは、今の仕事にも生かされている部分です。電子情報技術科だと、ハードもソフトも学ぶことができるので、その両方の知識を習得して、ぜひエンジニアになって世の中の製品を作ることに貢献してってもらえると嬉しいです。

Boss Message

上司メッセージ

頼りになる存在なので
今後の成長も
期待しています



製品開発技術部
製品開発技術課 愛下 弘二さん

麻生さんには、ファームウェア設計者として日々活躍してもらっています。要求仕様に対し、今までの経験を交えながら自ら進んで事前検討を行い、チーム内でのディスカッションを通して、最適解となるような設計をやってくれますので、非常に心強い存在です。今後は中堅社員として後輩の指導にも力を発揮してもらうことを期待しています。

麻生 亜希 (アソウ アキ) さん



本学を選んだ理由は？

ものづくりの仕事をしたいと考えており、進路を迷っていた時に、専門的な技術を学ぶことができる県技大を知りました。2年間という短期間で技術を習得することができ、何より就職率の良さが魅力的だったので進学しました。

在学中、一番の思い出は？

実習をはじめとする授業はどれも新鮮で、ものを作り、作ったものが動くことへの達成感を得たことが経験となり、現在の仕事につながったと思います。クラスメイトや先生との雰囲気も良く、毎日楽しい学校生活を送ることができました。

EV IN CAR

電子システム技術科※
【2013年度卒】
※入学時の科名
新電元熊本テクノリサーチ株式会社
製品開発技術部 製品開発技術課

麻生 亜希

情報システム技術科
【2015年度卒】
株式会社システムニッソウ 熊本サービス部

山田 芙美也



情報システム技術科

技大で培った技術を お客様のために発揮できる喜び

弊社は様々な会社のシステムの開発、運用サポートをしている会社です。その中で私は、お客様の給与管理、就業管理、人事管理システムの運用保守ヘルプデスクを担当しています。ヘルプデスクでは「思ったようにシステムが動かないため調査してほしい」というお問い合わせや「社内の制度変更に伴いシステムを変更したい」といったご要望に対応します。対応が完了した際に「ありがとう！助かります！」と声をかけていただくと、とてもやりがいを感じます。また、問題が発覚する前にシステムの不具合を発見し、未然にトラブルを防止することでお客様の作業が滞りなく円滑に進められた時にもやりがいを感じます。技大は4年制大学の学習量に負けないくらい専門的なことが学べるため、IT業界で活躍したい！と思っている高校生にとっては魅力的な学校です。ぜひ技大に入学して、夢を叶えてもらいたいです。

Boss Message

上司メッセージ

行動力のある人で
お客様からも高評価です



熊本サービス部
課長代理 渡邊 佑太郎さん

山田社員は、行動力があり物事を素早く実行に移すことができます。現在山田社員が担当するシステムの運用保守業務においても、システムを円滑に利用していただくにあたり山田社員の問題を解決する行動力はお客様からの評価も高く、大いに助けられています。その行動力を今後入社する後輩社員にも受け継いでもらいたいです。

山田 芙美也 (ヤマダ フミヤ) さん



本学を選んだ理由は？

当初は高校を卒業した後にIT系の企業へ就職するつもりでしたが、専門知識を高めて就職先の幅を広げなかったため技大を選びました。学費が安く、就職率が高いのも魅力な点でした。

在学中、一番の思い出は？

技大は1日のカリキュラムが組まれているため、2年間皆で同じ授業を受けます。友達と協力して実習やレポートを頑張ったり、休日には遊びに出かけたりして充実した学生生活を送ったのがとても思い出に残っています。

CAMPUS LIFE

個性を伸ばし基本を学ぶ、
そのための環境と仲間がこのキャンパスに。

キャンパスライフ



※撮影のために特別にマスクを外しています。



CampusLife Calendar

4
APR

■入学式
■オリエンテーション

5
MAY

■春季スポーツ大会

6
JUN

★若年者ものづくり競技大会
■オープンキャンパス

7
JUL

8
AUG

■前期授業終了
■定期試験(前期)
■企業見学会

9
SEP

10
OCT

■後期授業開始
■学園祭 &
■オープンキャンパス

11
NOV

■インターンシップ

12
DEC

■冬季スポーツ大会

1
JAN

2
FEB

●ポリテクビジョン
in 北九州
■定期試験(後期)

3
MAR

■卒業式
■学生就職面談会



学生自治会 サークル活動

様々なサークルや学生自治会での活動を通して、メリハリのある学生生活を送っています。

DATA

野球部 / 軽音サークル / e-スポーツサークル
Free スポーツサークル / バスケットサークル
CAD SEIZU サークル / ミニ四駆サークル
フットサルサークル / テニスサークル



外部活動実績

さまざまな活動に積極的に取り組んでいます



地域貢献

菊陽町で開催される「すぎなみフェスタ」や「小学生プログラミング教室」など、地域のイベントにも積極的に参加しています。



ロボット競技会

国際ロボット競技会(WRO)の熊本大会のスタッフとして大会の準備・審判を行い、小中学生を支援しています。



大学コンソーシアム

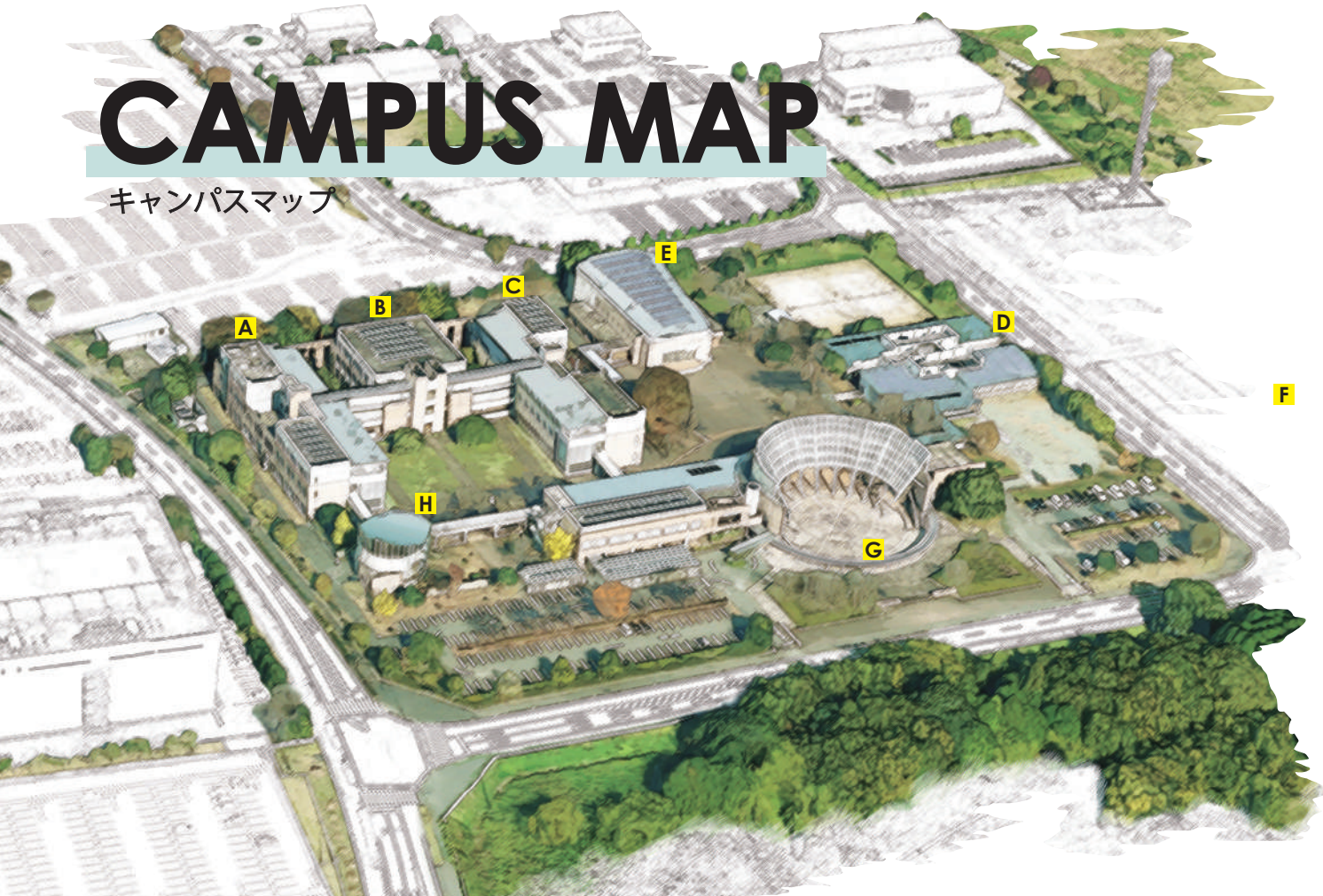
大学コンソーシアム熊本に加盟しており、江津湖の清掃活動やみずあかり等の活動への参加を通じて、他校の大学生とも交流しています。

●ポリテクビジョン in 北九州

九州ポリテクカレッジの学生が集い、教育成果の発表・展示を行い、地域社会との交流を深めるイベントです。招待講演、学生の研究成果発表、製作した作品等の展示、ロボット競技会等があります。

CAMPUS MAP

キャンパスマップ



自然に恵まれた環境の中、近代的でスタイリッシュな校舎で最新の技術が学べます。
太陽の日差しが差し込む大きなガラス窓が多く、いつでも心地良いキャンパスライフを送ることができます。



A B C D 実習棟

実験・実習を行う建物で、A～D棟に分かれています。各室には、コンピュータをはじめとする最新鋭の設備が整っています。



E 体育館・講堂

普段は体育館としてスポーツを楽しむことができます。ステージや可動式椅子も備えており、講演なども行います。



F グラウンド

敷地内から1ブロック先約2haの広さの専用のグラウンド。野球やサッカーなどの屋外での運動に利用しています。



G アカデミックプラザ

阿蘇のカルデラをイメージした印象的なデザインの広場。通路としてだけでなく、友人との語らいの場としても使える空間です。



H 学生ホール

学生のためのリラックスゾーン。陽光あふれる吹き抜けの空間が気持ち良いスペースです。

QUESTIONS AND ANSWERS Q & A

Q1：専門的に勉強したことがないが、講義についていけますか？

各学科の約半数は普通科出身です。実習等についても未経験者を視野に入れて指導しますので、やる気さえあれば大丈夫です。

Q2：学費などについて教えてください。

授業料は、年間39万円で、4月と10月に半額ずつ納入していただきます。また、入学生は、4月当初に教科書等の費用として、約12万円が必要です。

Q3：日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けることはできますか？

本学では、奨学金ではありませんが、「技能者育成資金融資」という制度があります。これは、成績と収入状況の審査が必要ですが、入学後、授業料や入学科相当金額の融資を労働金庫から受けられます。なお、日本学生支援機構からの奨学金の貸与は受けられません。

Q4：学生寮はありますか？

本学には学生寮はありません。自宅から通うことができない学生は近隣の菊陽町や大津町にアパートを借りています。

Q5：技大から他校へ編入はできますか？

本学卒業後に、大学の3-4年次に対応する全国職業能力開発大学校の応用課程（2年間）に編入できます。本学からは、これまで、九州（福岡県）、近畿（大阪府）、四国（香川県）の各職業能力開発大学校応用課程に編入しています。

Q6：技大から大学院に進むにはどうすればいいですか？

本学卒業後、職業能力開発大学校応用課程に編入して卒業すれば、大学院に進学することが可能です。本学校の卒業生の中には、大学院で修士課程を修了、さらに博士課程まで修了している人もいます。

ENTRANCE EXAMINATION INFORMATION 入試情報

入試	出願手続き期間	試験日	試験科目	合格発表	入学手続き期間	募集人員
推薦 (前期)	2022年 8月25日(木) ～9月7日(水)	2022年 9月18日(日)	数学Ⅰ、面接	2022年 9月28日(水)	2022年 10月3日(月) ～10月11日(火)	Ⅰ群〔機械〕 18名 Ⅱ群〔電子・情報〕 18名 募集の内訳： 専門学科（理数科除く）総合学科の 高校3年生（18名程度）
推薦 (後期)	2022年 10月27日(木) ～11月9日(水)	2022年 11月20日(日)	数学Ⅰ、面接	2022年 11月30日(水)	2022年 12月5日(月) ～12月12日(月)	Ⅰ群〔機械〕 12名 Ⅱ群〔電子・情報〕 12名 募集の内訳： 普通科・理数科の高校3年生（8名 程度）専門学科（理数科除く）・ 総合学科の高校3年生（4名程度）
一般	2023年 1月10日(火) ～1月25日(水)	2023年 2月5日(日)	数学Ⅰ・Ⅱ コミュニケーション英語Ⅰ	2023年 2月15日(水)	2023年 2月20日(月) ～3月6日(月)	Ⅰ群〔機械〕 20名 Ⅱ群〔電子・情報〕 20名
事業主 推薦	2022年 8月25日(木) ～9月7日(水)	2022年 9月18日(日)	数学Ⅰ、面接	2022年 9月28日(水)	2022年 10月3日(月) ～10月11日(火)	Ⅰ群〔機械〕 若干名 Ⅱ群〔電子・情報〕 若干名
自己 推薦	2022年 10月27日(木) ～11月9日(水)	2022年 11月20日(日)	数学Ⅰ、面接	2022年 11月30日(水)	2022年 12月5日(月) ～12月12日(月)	Ⅰ群〔機械〕 若干名 Ⅱ群〔電子・情報〕 若干名
外国人 留学生	2022年 10月27日(木) ～11月9日(水)	2022年 11月20日(日)	数学Ⅰ、面接	2022年 11月30日(水)	2022年 12月5日(月) ～12月12日(月)	Ⅰ群〔機械〕 若干名 Ⅱ群〔電子・情報〕 若干名
	2023年 1月10日(火) ～1月25日(水)	2023年 2月5日(日)	数学Ⅰ・Ⅱ 面接	2023年 2月15日(水)	2023年 2月20日(月) ～3月6日(月)	Ⅰ群〔機械〕 若干名 Ⅱ群〔電子・情報〕 若干名

入試の出願資格（主なものを記載、詳細は募集要項をご確認ください）

- 推薦前期・後期 高校を2023年3月に卒業する見込みの者で、調査書の「全体の評定平均値」が3.5以上あり、人物が優れている者。合格した場合、必ず本大学校に入学する者。
- 一般 高校を2023年3月に卒業する見込みの者、又は、高等学校等を卒業している者、もしくは、これと同等以上の学力を有すると認められる者。
- 事業主推薦 熊本県内の企業に勤務し、高等学校等を卒業している者、又は、これと同等以上の学力を有すると認められる者。合格した場合、必ず本大学校に入学する者。
- 自己推薦 高校を2023年3月に卒業する見込みの者、又は、高等学校等を卒業している者、もしくは、これと同等以上の学力を有すると認められる者。合格した場合、必ず本大学校に入学する者。
- 外国人留学生 外国籍を有し、外国において学校教育の12年の課程を修了した者、又は、これに準ずる者で、日本語力に関し、日本語能力試験の認定レベルがN2程度以上である者、もしくは、外国籍を有し、日本の高校を2023年3月に卒業する見込みの者。合格した場合、必ず本大学校に入学する者。

入学願書（募集要項） 入手方法

県内の高校へ配布していますが、本学窓口、熊本県庁情報プラザ、各地域振興局でも配布しています。ご希望の方には直接郵送もいたしますので、郵送希望の方は本学WEBサイトの「入試案内」→「募集要項」より、詳細をご覧ください。

◆熊本県立技術短期大学校公式 WEB サイトはこちらから <https://www.kumamoto-pct.ac.jp>



入試データ（2021 年度実施）

	推薦入試（前期）2021.9.26 実施		推薦入試（後期）2021.11.14 実施		一般入試 2022.2.6 実施		計	
	Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅰ群	Ⅱ群	Ⅰ群	Ⅱ群
募集人員（人）	18	18	12	12	20	20	50	50
志願者数（人）	17	30	11	14	16	41	44	85
合格者数（人）	17	19	10	13	25	26	52	58

※追加募集を除く第2志望者含む

お気軽にお問い合わせください！

オンライン個別相談 実施中！！

パソコンやスマートフォンなどを利用し、各科での学びや入試制度、学生生活、就職実績、学費のことなど、さまざまな疑問にお答えします！詳しくは、右の二次元コードを読み取ってご覧ください。

